オリンピックによせて（一）

沢村武一

国民待望の第十八回オリンピック大会は、二年後の一九六四年東京で開催されます。

国際オリンピック大会は、フランスの教育家、クーベルタン男しやくが、古代ギリシヤのオリンピック祭を模いこれを国際的にし、各国青年の心身鍛錬と、公明正大な運動精神の涵養、また明朗な国際親善を目標として一八九四年に創設され、以来四年に開かれ、回を重ねる毎に盛大となり効果を挙げています。

この大会の開催責任者は、開催地のオリンピック組織委員会で今回は、第十八回オリンピック東京大会組織委員会が準備を進めています。しかし、開催国は、選手の養成強化対策に止まらず、各種競技場の整備はもとより宿舎、道路交通、観光その他大会開催に関連した、必要な諸施設の整備など、広範多岐にわたつており、組織委員会だけでは、その成果を期待することはできないことです。そこでわが国の総力を結集した、挙国的な体制の下で開催することは、オリンピック開催国として当然の責務であり、またこの祭典を通じてわが国力の向上発展の根幹を培い、わが日本民族の優秀性を万国に認識さすことは、極めて大切なことです。

政府は、去る五月二十五日の閣議で、天皇陛下を大会の名誉総裁とし、オリンピック担当国務大臣を置くことを決め、更に万全を期するため、関係閣僚懇談会を開くなど東京オリンピック大会に対します中央の体制が整備されつつあります。しかしながら、中央の体制整備だけでは、効果は薄く国民の盛り上る力が必要だと考えます。このため、今後はあらゆる方策を講じ、正しい理解に基くオリンピックムードを起すことこそ極めて緊要であると考えます。

オリンピック大会の開催はわが国はもとより、アジアでは最初のことです。尤も第十二回オリンピック大会で、相手国の英国、フインランドを退けて東京招致に成功し、歓喜したものです。しかし、その後の状況から開催不可能となり返上して既に二十数年を終えたいま第十八回オリンピック大会が東京で開かれることは、誠に意義深く、一層効果的にする必要を痛感します。わが国が参加した過去のオリンピック大会の成績を想起いたしますとき　凡ゆる点で好成績を挙げましたのは、一九三六年（昭和十一年）のベルリンでの第十一回オリンピック大会です。

私は、この大会の視察を兼ね文部省より昭和十一年六月に、学事視察のため、欧州各国に出張を命ぜられました。

ベルリンのオリンピック大会は、九月一日から開催され殆んど凡ての競技種目を視察し同時に、当時独逸が国家として、非常に力を入れていたこと　及び諸施設の完備していたことを見、又一方わが国選手の活躍によつて日章旗を、十数回ベルリンの空高く、へんぽんとして、ひるがえした大会の雰囲気に浸つた当時のことを先づ述べて見たいと思います。

当時欧州に参りますには、シベリヤ経由、スエズ経由アメリカ経由の三コースでその内シベリヤ経由が最も短く、東京を立つてベルリンまで約十四日間であり往は、その方を選びました。

（筆者は市議、市スポーツ審議会長）（未完）

ポスターの広場

締切　毎月二十日
宛先き　広報委員会

米価は農民の手で

諸物価や労賃が上る割に米価は上らず、今迄は申訳に後から小刻に上るのみで一向均衡が取れず、農民も全く四苦八苦の情態におかれていた。

昨年度も米価要求の運動を行つたが、期待した程戦果が上らなかつたのも記憶に新らしい所である。

本年度も出来秋をひかへ、本月三四〇と開かれる米審会や、その他に働きかけたよう、陳情団を送り、六月二十七日には県民ボールに五千の農民が集り、一万二千七百六十八円の米価を確得すべく総蠶起大会も開かれたが、こうした運動が一時的なお祭り騒に終つてはならない。

我々は要求が貫徹するまでは、刀をれ矢つきるまで頑張り戦ひぬく覚悟がなければならない。又この大会に各党の代表が祝辞を述べられたが、参院選の前とあつてか異口同音に、皆さんの期待に福うよう努力すると公約された。

私はラソは申しません。これは池田総理の一枚看板である、参院選も全国的に自民党の圧勝に終つたが、私はウソは申しませんを実行してくれるかどうか。

この間開かれた農林水産委員会に、高知県代表が一人も出席していなかつたと陳情団から聞いたが、こんな情態では公約も寃念仏に終るのが関の山ではあるまいか。

そこで考へられるのは、肢引きやはん姿の我々の本当の代表を、国会へ送るべきではあるまいか、全国六百三万農家が共に手を取り団結すれば、我々の作つた米の価を我々によつて決めるようになる事を、私しは確信するものである。

創価学会が参院選の都度、数人の当選者を出しているのを見ても、団結力の偉大さを物語つているではないか。

全国六百万農家の諸君、共に手を取り我々の手で米価を決める日が来るまで、共に戦かをうではないか。

市民生

第一回　市民俳句会

一席　夏村を飛ばすがにまた声荒らげ　福船　和田ひでみ

二席　匂ひつゝ薬草乾きゆく薄暑　住吉野　武市亮一

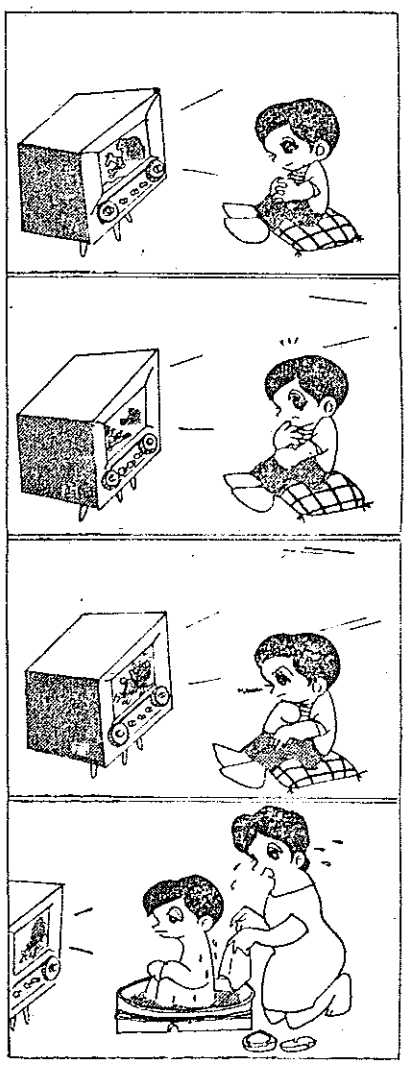
三席　スト解けて梅雨の重みの旗下ろす　介良村北島　島田静雨

佳作　北村涼々子推薦句
　　墓塚のねずみ人家へ通ふ道　稲生　前田昭子
　　小松六居推薦句
　　託児帰り抱けば夕焼はじまるよ　高知市細手町　三宮たか志
　　池禎章推薦句
　　核実験夜は白百合の疼く匂ひ　三宮たか志

俳句募集

投句数、当季雑詠三句
締　切、毎月末日
投句方法、葉書に自筆で三句を記し、住所氏名（号）を記載のこと
送付先、南国市大埇字弘井ケ内　西岡双島子

ポクちゃん　BY 人工英世



高級御誂服とレデイメード替ズボン
西田洋服店
後免中町（相銀前）電話3063

正解は四通

トップ賞松岡さん

第二回広報公明選挙クイズの応募数は百四十六通、うち正解は四通でした。

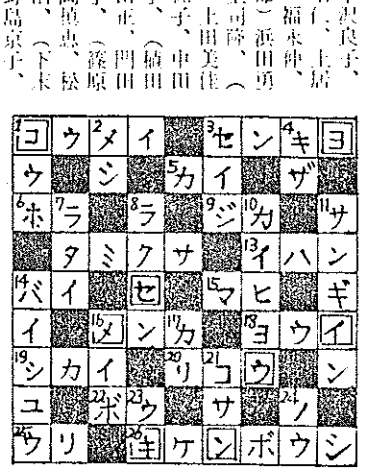
抽せんの結果、トップ賞は松岡慎忠　篠原一さんに、次点賞は井上茂（甲改田）、大原幸実（前浜）、二宮柳恵子（廿枝）の三氏に決定しました。

また、一字違いの三十四通（二十八人）の方々には、残念賞として記念品を、それぞれ公明選挙推進協議会からおくります。

今回の穴は、24のタテのかぎで、大半は、ヨウ、オウと解かれていましたが、正解はノウ（嚙）でした。賞金は、送金通知書を発送しますので、市金庫（支金庫）でお受取り下さい。

残念賞の次の方々には記念品をお手許にお届けします。

（久礼田）岡崎光枝、（十市）中沢良子、上原昭子、上居慶雄、福永伸一、（物部）浜田勇子、上司降、（後免）上田美佳、遠藤種子、中田美紀子、（植田）門田正、門田方美子、（篠原）松岡慎忠、松岡政治、（下末松）野島京子、（植野）窪添糸喜、宮地幸子、（片山）岡上敏郎、岡上正子、（天行寺）奴田原幸重、奴田原文江、（宍崎）白川淳一、（上末松）植野昭、（廿枝）二宮柳恵子（白木谷）竹内恵美子、竹内優子、（前浜）大原幸実



短篇　ヤマモモの季節 (2)

十市梨夫

あれからきつかり二年経つた。今年もヤマモモは豊作で山は毎日モモ狩りの人達で賑わつていたが、けうはいまにも雨を呼びそうな空模様である。

一台のハイヤーが順子の家へ通じる坂の下で停つた。車から下り立つたのはいつかの青年であつた。かれは二年前と較べると眼鏡も立派で、からだつきもひと回り大きくなり、すつかり風采のあがつた感じである。

かれは坂道を登るとすぐにあの日順子が立つていた門脇の窓へ眼をやつたが、その窓はけうは開かれていなかつた。急いで近かよつてみるとガラス戸の内側にはカーテンが重く垂れていていまは人の住んでいそうな気配さえも見えない。淀んだ空気がふいにいやな予感をかれの胸へ押しつけてきた。順子はもうこの家にはいないのだ。きつとどこかへ嫁入つたにちがいない。隠しようもない焦燥感が湧いてきた。かれは急いでその家の門をくぐつた。

かれが招じ入れられたのは玄関の八畳の間であつた。建物はすつかり古びていたが、襖から調度に至るまですべてがどつしりと重たくそれらはこの附近切つての旧家であるこの家の歴史を物語つていた。順子の母なる人は二年の間に髪に大分白いものをまじえていてすつかり老けた感じである。

「順子さんはもうお嫁にゆかれたのですね」月並な挨拶の後、かれは先づそのことをきかずにいられなかつたが、すると案和なその人の微笑がにわかに悲哀の色に変わつてきた。

「順子はもうこの世にはいないのでございます」涙がうつくしい眼に充ちてきたようである。

「亡くなられたんですか？」かれは慌いて叫ぶように云つたが、かれの瞳も忽ちに雲つてきた。

「それはいつのことなんです」

「今年の三月の初めに――」と云いさして霧れた泌みるような眼をかれに向けた。あれからの順子はすつかり元気になつて、秋の終り頃には恢復していたが、年が明けてから風邪がもとでまた寝つくようになり、今度はほんとうの結核に侵されてしまつて、今年の三月の初めに手術をしたのだが結果がいけなかつたという。

「順子はあなた様から頂いたお便りをそれはそれは大事にして、床に就くようになつてからはいつも取出しては読んでおりました。」母親は感謝を籠めて云つたが、かれはもうその場に居たたまれない気がしてきていた。

かれが順子への便りを断つたのは年が明けてからであつた。あれからの順子はまるで手紙を書くことにのみ生甲斐を見出したかのようにかれに便りを送つてきかれもまた長い返事を書いた。そんな風にして頻繁な交通がつづいたが、年の瀬が迫る頃になると順子の手紙の内容は漸く愛の言葉に変わらうとしていた。かれは怖れていたものがついに来たことを覚つた。それはかれの結婚の日取りと結びつくものでもあつたから。

年が明けて結婚すると同時にアメリカ行きが現実の形を取つた時、かれはこれ以上順子を苦くことの黒深さを知つた。故国を離れることでその決断は容易についたが、しかしアメリカへ渡ることを伝えただけで結婚したことにはついに触れることができなかつた。だが順子は男のそんな変化を敏感に感じとつて心の支えを失うと同時に、再び健康が崩れはじめたであらうことが、いまははつきりと分つてきた。

「ぼくは昨年の春金儲ない結婚をして、結婚をするとすぐに会社の都合でアメリカへ渡つたのですが、君も今年の二月の終りに交通事故で死んでしまいました」母親は若い男をじつと見たこの人もこんなに若くてもうそんな大きな不幸の山を越してきたのかと思つた。

「それはそれはお気の毒なことをいたしました」

「それでぼくは順子さんがまだお嫁にゆかずにいられるのでしたら、今度こそ結婚して頂かうと思つておりましたんですがだめでした」

「順子が生きていましたらどんなにか喜んだでしように――」母親はしみじみと云つて涙を拭つて立上つたがやがてどこからか一つの小さな包みを持つてきた。

「これをいつかあなたにお目にかかる日があつたら必ず差上げて欲しいと順子が申しましたので――」丁寧に紙でくるんだものをかれは慄く手で受取つた。

やがてかれは独りで山へ登つた。

（以下次号）

今月の税金

七月は固定資産税第二期分の納期（七月一日―三十一日）です。

市では納税者の便宜を計るため、市金庫（農協）以外の次の場所で出張徴収をいたします。期間内納税に、ご協力下さい。

地区	月日	時間	場所
大篠	7月30日	前9時―後4時	竹中公民館
稲生一	〃	前9時―正午	立石公民館
〃	〃	後1時―後4時	西谷消防電所
十市	〃	前9時―正午	阿戸公民館
〃	〃	後1時―後4時	大小浜公民館
久礼田	〃	前9時―正午	植田公民館
〃	〃	後1時―後3時	領石支所
伊達野 住吉野	7月31日	前9時―正午	住吉野公民館
大篠	〃	前9時―正午	明見公民館

夏だ　海だ
水着
ビツチボール　品揃
浮袋
後免西町　百貨の富士屋
TEL 248

お見合に
御婚礼に
山崎写真館
南国市後免中町
電話（南国）354

ブルドーザー整地
1時間　2,000円より
吉本鉄工所
電話　日章29